土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　西父木野川支川3外　通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

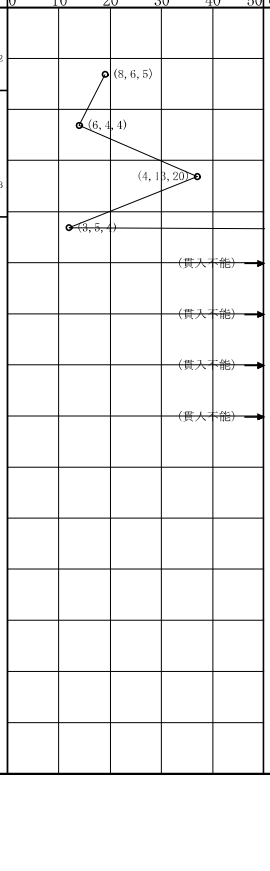
調査目的及び調査対象　砂防 構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.8	**調査位置**	広島県神石郡神石高原町父木野地内			**北緯**	34° 39′ 57.1238″
発注機関	広島県東部建設事務所			**調査期間**	2022年 2月 1日 ～ 2022年 2月 3日	**東経**	133° 13′ 51.1305″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 500.25m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 35°
総削孔長	8.00m	**使用機種**		**試錐機**	東邦DO-C	**エンジン**	ヤンマーNFD-12
ポンプ	東邦BG-3						

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3 4	495.35	4.90		玉石混じり粘土質砂礫		暗褐	rd3		完新世	深度0.5mまで有機質な表土。粘土分やや多い。 径10～50mmの亜角礫と粗砂主体。 基質は粘土分を多く含有。部分的に弱い粘性を示す。 全体に含水多い。 コア長5～10cmの硬質な転石が不規則に点在。礫種は雑多である。 深度4.10m以深，含水多く非常に緩い。	02/02 1.63 02/03 4.10
5 6 7 8	492.25	8.00		砂岩	CH	暗青灰			ペルム紀	棒状コア（中硬岩以上）。 岩質は新鮮硬質でハンマー打診で金属音を発する。 深度5.30mまでは割れ目に薄く流入土砂を挟む。 泥質～凝灰質部がやや多く混在する細粒砂岩。 傾斜20～30°の層理を有する。 珪質な白色細脈がややや規則に発達する。	

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
19	1.15	8	6	5	19/300		
	1.45						
14	2.15	6	4	4	14/300		
	2.45						
37	3.15	4	13	20	37/300		
	3.45						
12	4.15	3	5	4	12/300		
	4.45						
	5.00	貫入不能			50/0		
	5.00						
	6.00	貫入不能			50/0		
	6.00						
	7.00	貫入不能			50/0		
	7.00						
	8.00	貫入不能			50/0		
	8.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					2/1
					2/2